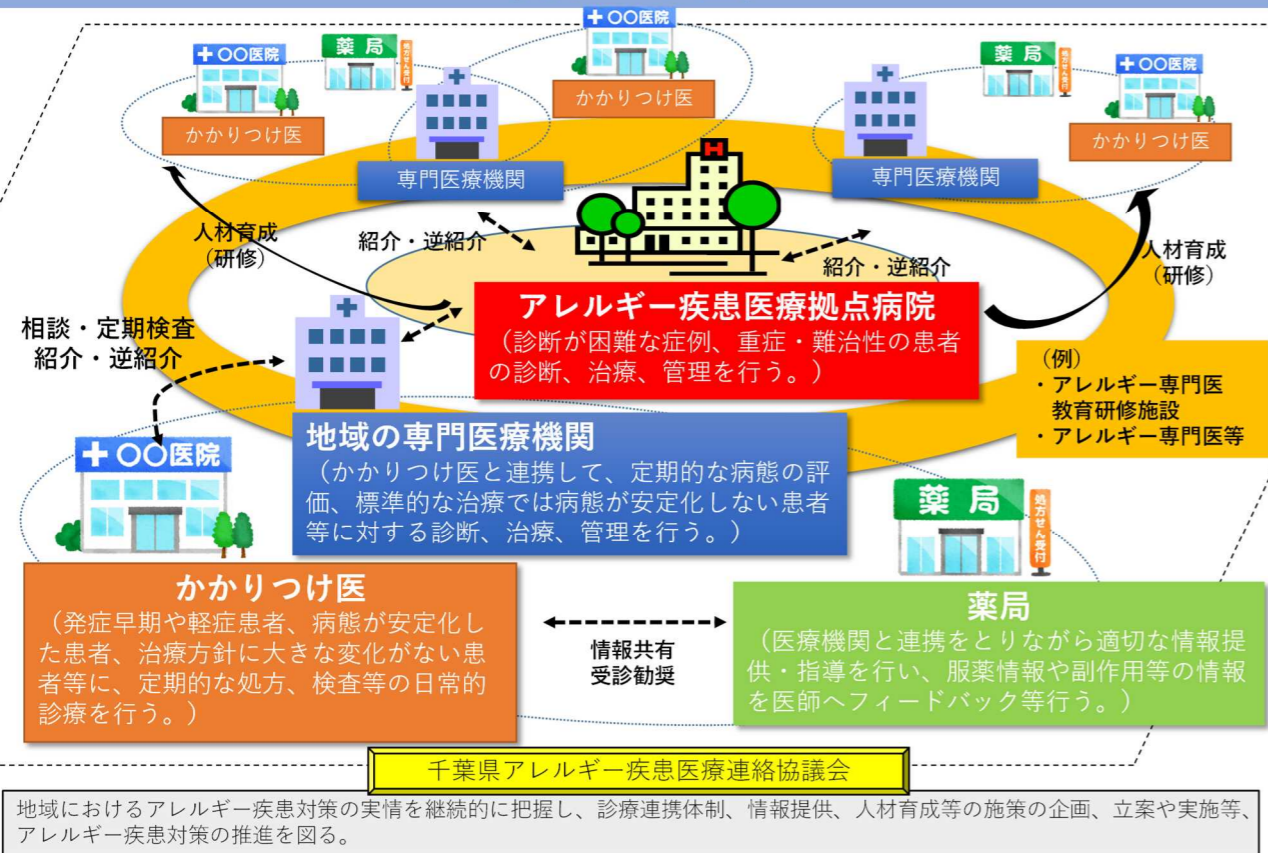


- ① **かかりつけ医を中心とした適切なアレルギー疾患医療提供体制の推進**
居住する地域に関わらず、診療所や一般病院における身近なかかりつけ医のもとで、適切なアレルギー疾患医療を受けられるよう、かかりつけ医を中心とした医療提供体制の整備を目指す。
- ② **かかりつけ医、地域の専門医療機関、拠点病院の診療連携体制の整備**
定期的に専門医による病態の評価が必要な患者や、標準的な治療では病態が安定化しない重症及び難治性の患者等に対する診療連携体制の構築を目指す。
- ③ **医師・医療従事者の人材育成**
アレルギー疾患診療を担うかかりつけ医等に適切な医療についての情報提供を行う講習の機会を確保する。
- ④ **医療機関情報の提供**
適切な受療行動を促進するとともに、地域での医療連携の推進にも活用できるよう、アレルギー疾患診療に携わる専門医やアレルギー診療を行う医療機関に関する情報を提供する。

本県におけるアレルギー疾患の医療提供体制について (イメージ図)



居住地域レベル

1 かかりつけ医

定期的な処方や検査等の日常的診療を行う、患者に最も身近な存在であり、科学的知見に基づいた適切な医療を提供する。

また、診断が困難な症例や標準的な治療では病態が安定化しない重症及び難治性アレルギー疾患患者については、適宜、地域の専門医療機関を紹介する。

- ・地域の診療所や一般病院
- ・内科・小児科・耳鼻咽喉科・皮膚科・眼科等の専門医が在籍する医療機関

2 薬局

患者に対する最新の科学的根拠に基づいた適切な情報提供・指導のほか、処方医師への副作用等の情報のフィードバックを行う。

検索可能なリソース

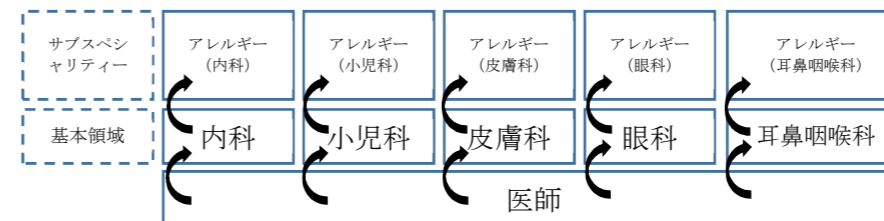
- 診療可能な疾患
 - ・ちば医療なび
 - ✓喘息 (成人)
 - ✓喘息 (小児)
 - ✓アトピー性皮膚炎
 - ✓アレルギー性鼻炎
 - ✓花粉症
 - ✓食物アレルギー
- 各診療科専門医
 - ・ちば医療なび
 - ・各診療科学会のホームページ
- お薬手帳の活用
 - 調剤された薬の履歴をまとめた手帳で、重複投与、副作用などを防ぐ。

3 「地域の専門医療機関」 …本県独自

各地域における、診療所や一般病院での標準的な治療では病態が安定化しない重症及び難治性の患者等を診療する医療機関。

- (例)
- ・アレルギー専門医が常勤する医療機関
 - ・アレルギー専門医教育研修施設

(参考) 専門医について



検索可能なリソース

- アレルギー専門医
 - ・ちば医療なび
 - ・日本アレルギー学会ホームページ
- アレルギー専門医教育研修施設
 - ・日本アレルギー学会ホームページ
- 専門的なアレルギー診療・検査
 - ・ちば医療なび
 - ✓食物アレルギー負荷検査
 - ✓アレルギーの減感作療法
 - ・食物アレルギー研究会
 - ✓食物経口負荷試験実施施設

《検討》「地域の専門医療機関」の選定について

- 具体的な「選定要件」について協議する必要がある。

県レベル

アレルギー疾患医療拠点病院

診断が困難な症例や標準的な医療では病態が安定化しない重症及び難治性アレルギー疾患患者に対し、関係する複数の診療科が連携し、診断、治療、管理を行う。基本的に地域の専門医療機関でも診療・管理が難しい症例を診療する。

さらに、人材育成機能として、医療従事者や施設職員への研修を実施する。

《検討》医療機関情報のまとめ方について

- 既存の検索可能なリソースを引用し、千葉県ホームページや拠点病院ホームページ等で集約し掲載する方向でよろしいか。

《検討》診療連携推進のための「連携媒体」について

- 「連携媒体」や「自己管理手帳」の利用が望ましい疾患とは何か。
- 連携媒体については、既存資料(ぜんそく手帳等)を活用するとともに、新たに作成が必要な場合は、拠点病院のアレルギー疾患医療コーディネーターの協力を頂きながら、検討する方向でいかがか。

《検討》人材育成について

- かかりつけ医向け研修については、県内各地域(4方面程度)で、拠点病院が主体となり実施していく上で、県医師会・地区医師会や「地域の専門医療機関」にも協力を要請することはいかがか。
- 医療従事者向け研修では、県内の小児アレルギーエデュケーター(PAE)にも講師を担っていただくことを考慮し、PAEの在籍する医療機関にも協力を要請することはいかがか。